



茗溪 かながわ

MEIHEI KANAGAWA

NO.15

発行 神奈川茗溪会 (旧 茗溪会神奈川支部) 発行者 大畑多津雄

令和元(2019)年 10月



令和元年度 総会 が 開催されました

七月二十七日(土)、神奈川茗溪会総会、講演会、懇親会が横浜中華街の「ローズホテル横浜」にて開催されました。

23名の参加を得て開かれた役員会に続き、今年度は47名の参加者をもって総会が行われました。協議事項として平成30年度の事業報告ならびに決算報告、令和元年度の事業計画及び予算案の提案がなされ、了承されました。また今年の春の叙勲で熊澤 茂氏が「瑞宝小綬章」を受章され、途中から参加されたご本人からは懇親会の席で、喜びの挨拶をうかがうことができました。

さらに令和4年を記念事業の中心として行う「茗溪創基150周年事業」についての案内があり、式典・記念誌・寄付金を3つの柱とする企画の紹介がなされました。

また、今年度は2年に一度の代議員選挙の年にあたり、季刊誌「茗溪」秋号にて立候補の受付及び推薦等の手続きについて案内がなされることと報告されました。

今年度の講演会は筑波大学2年の相馬崇史君が学生連合で箱根を走ったことを受け、東京教育



大学陸上部OBの船原勝英氏(s49教大)に「箱根駅伝の歴史と筑波大学の挑戦」という演題で講演していただきました。東京高師の時代から今日の筑波大学に至るまで箱根に挑んだ歴史と、現在の箱根駅伝プロジェクトについて興味深い話を聞くことができました。(後頁掲載)

懇親会は45名の参加者をもって執り行われ、懇親会の司会とし

てはベテランとなった中野久美子氏(s57筑体)の軽快な司会進行で、明るく賑やかな時を過ごしました。今年初めて参加された遠藤 滋氏(s58筑社)からの話など、あらたな産業人からの話も聞くことができました。恒例の「宣揚歌」はいつもの学生服、白の手袋をした大石 進氏(s56筑体)のリードで、同窓の輪を左右に揺らしながら、高らかに謳いあげられました。そして来年の再会を誓い合いながら、加藤充洋会長代行(s56筑一社)による閉会の挨拶をもって、神奈川茗溪会総会は盛会のうちに、幕となりました。



講演会

「箱根駅伝と筑波大学の挑戦」

講師 船原 勝英 氏

筑波大学陸上部OB・OG会幹事長



今年の正月、筑波大学の相馬君が箱根駅伝を走り、私も現地で茗溪関係者と応援をしました。

箱根駅伝の歴史の中で、筑波大学（茗溪）がどういう位置にあるかというところ、「オリジナル4」つまり第一回大会の参加四大学のひとつということ、そしてその第一回の優勝校であるということ、すなわちその後の優勝はないのですが・・・皆さんご存知の通り、箱根駅伝は「いだてん（NHK大河ドラマ）」の金栗四三さんが中心となり大正九年に始められました。

その金栗さんですが、世界記録を出し明治四十四年に世界に出

ていったわけですが、三回のオリンピックでは成績が残せませんでした。そこで何とか後継者を育てたいということで、箱根駅伝を始めたということ、実はもう一つルートの候補地があつて、それは日光だったのです。もし日光になつていたら、神奈川茗溪会は応援に行きませんでしたね。

第一回大会が四校しか参加しなかったのは、20kmを走る十名の選手を集めることが当時は難しかったからなのです。

だいたいスタートは二月十四日土曜日の午後一時。これは授業が終わってからスタートというところで、もう箱根の山を登り始める頃は夜になり、小田原の青年団がたいまつで道を照らし、イノシシ除けに猟銃を「バーンバーン」と撃ち鳴らすような時代だったと語り継がれています。

途中で雪も降り始め、優勝した東京高師の往復タイムはなんと十五時間五十六秒でした。面白いエピソードがあり、箱根山中で抜け道を探し出したら、それを通

ってもOKだったそうです。また、戦後東京文理大陸上部の初代キャプテンで、その後武蔵大学で長く教鞭をとられた福本久雄先生に伺ったところ、当時の選手は護国寺の坂で都電と競走して練習したという話でした。

そして、「いだてん」にも出てくる金栗足袋の「ハリマヤ」が当時大塚にあつて、選手は、そのシューズを履いていたそうです。この会社は平成十二年頃まではあつた会社で、私の友人などもこのシューズを使っていました。世界戦略を展開したアシックス（オニツカタイガー）が出てきて衰退してしまいました。

さて、オリジナル4から東京高師、本日ご出席の土方多美枝さんのご主人（久平さん）が活躍した東京文理大の時代を経て、「充実の東京教育大時代」を迎えます。この時代の立役者が帖佐寛章（ちようさひろあき）さんでした。長らく日本の長距離陸上部界を引っ張って来られた方で、メキシコオリンピックの時、強化委員長として、君原健二さんなどの活躍を引き出した方です。「鬼の帖佐」と言われている熱血漢です。この時代のメンバーからその後オリンピックに行くような選手はほとんど出ていないのですが、長距離の指導者として優秀な人が出ています。その後、徐々に駅伝の成績は伸びなくなります。理由とし

ては、長距離の選手を十人揃えることが難しかったということがあります。国体で100mに出た選手や400mハードルでアジア大会に出た選手が出たりしているのです。そして、筑波大学にとって決定的な衰退の原因になつた出来事が起きます。昭和六十二年に始まつたテレビ放映です。箱根駅伝は私学生残り残りの戦場になつてしまつて、国立大学はお呼びびじやない状態になります。ケニアの選手を擁する山梨学院大学の活躍がテレビで放映されましたよね。今年の正月の箱根駅伝の視聴率は30%を超えたそうです。信じ難い数字ですよ。このテレビ放映を仕掛けた人物が、これまた茗溪の人物で、日本テレビの坂田信久さんです。東京教育大のサッカー部の出身です。

に持つてきて大々的に放映したりしています。のちに東京ヴェルディの社長になりましたね。

そして、このテレビ放映で得た資金を、陸連は世界の先進国に短距離指導者を派遣するなどの指導者養成などに充てて、日本の陸上部は長距離だけでなくリレーそして100mでも活躍する選手が出るようになりました。ところがその後長距離の方は、なかなか傑出した選手が出なくなりました。これもテレビ放映の影響ですね。長距離の場合、全国で100傑に入ると大学のスカウトの対象になると言われています。他にこんな種目ありますかね。100mだったら決勝に出てスカウトの対象になるかどうかですよ。確かに全体として駅伝は強くなつたけれど、世界で勝負できる選手は出ているのでしょうか。駅伝の醍醐味は「たすき」をつなぐことだと言われています。前半は抑えて無理をしないとか。それでスピード時代の世界の長距離に通じるのでしょうか。

ご存じない方もいますが、箱根駅伝は関東学連の主催するいわば関東ローカルの大会です。当初はNHKにテレビ放映の話があつたらしいですが、「そんな関東ローカルのイベントを」ということで、プロレス中継で知られた日本テレビが放映することになつたそうです。その後NHKでは内部的に大問題になつたらしいですね。なぜこんなチャンスを見失ったのか。それはともかく、坂田さんの尽力でテレビ中継が始まりました。その後彼は、関西でやっていた高校サッカーを関東

に持つてきて大々的に放映したりしています。のちに東京ヴェルディの社長になりましたね。

そして、このテレビ放映で得た資金を、陸連は世界の先進国に短距離指導者を派遣するなどの指導者養成などに充てて、日本の陸上部は長距離だけでなくリレーそして100mでも活躍する選手が出るようになりました。ところがその後長距離の方は、なかなか傑出した選手が出なくなりました。これもテレビ放映の影響ですね。長距離の場合、全国で100傑に入ると大学のスカウトの対象になると言われています。他にこんな種目ありますかね。100mだったら決勝に出てスカウトの対象になるかどうかですよ。確かに全体として駅伝は強くなつたけれど、世界で勝負できる選手は出ているのでしょうか。駅伝の醍醐味は「たすき」をつなぐことだと言われています。前半は抑えて無理をしないとか。それでスピード時代の世界の長距離に通じるのでしょうか。

まあ早稲田大学出身の大迫傑選手とかは頑張っていますけどね。さて、その大学駅伝のチーム經費ですが、私学では数千万単位のお金がかかっています。そんな中で、国立の筑波大学の監督に就任した弘山勉君ですが、彼は栃木県立真岡高校の出身で、ほとんど長距離の素人だったにも関わらず、高校三年生の時には全国高校駅

伝に出場しています。そして筑波大学に進学して箱根駅伝にも出場しました。その選手が今、筑波大学の監督になっているのですが、まあお金がない。だから「青山だったら二軍で終わるかもしれないけれど、筑波に行ったら箱根を走れるかもしれないぞ」と選手をスカウトしています。つまり、全国レベルの大会で活躍した選手はほとんど進路が決まっていますから、伸びしろのある地方の進学校の選手を茗溪の人脈を頼りにスカウトしていくしかないのです。そして今年の筑波大学のチームですが、箱根を走った相馬君が二年生にいますし、一・二年生は期待が持てると思います。予選会のタイムをみると、あと8分(一人あたり50秒)縮めると箱根駅伝出場の可能性が出てきます。一番悪い時期からはだいぶ回復してきて「筑波行けるな状態」になってきています。十五年前には日本学連選抜として筑波大学の鐘ヶ江幸治君が出場、区間賞をとり、創設されたばかりの金栗四三杯をもらっています。また、そんな選手が出てきて本選出場が叶えばと思います。

クラウドファンディングもやっていますから、是非そんな面でも、筑波大学の箱根駅伝出場を応援いただけるとありがたいです。

茗溪の水

「人生旅の途上」

—新たな出会いを求めて—

佐藤 到

(s57 筑社工)



アルバイト先の区民利用施設にて

どで一緒に戦ってくれた先輩や同僚、後輩との出会いがあったからこそ、楽しい思い出となって蘇ってくるのだなと実感しています。私が茗溪会の存在を知ったのは、寛政高校に異動した時でした。当時の校長清水進一先生から筑波での中央研修に推薦された時です。大学卒業以来久しぶりに訪れた筑波での研修は、全国のいわゆる中堅教員が集まり学校運営に関する研究協議などを約五週間にわたり行うもので、とても刺激を受けました。

この経験は、さっそく横浜東部方面総合学科高校開校準備室での仕事に生かされたと思っています。二つの学校が再編・統合によって新しい学校になる。言葉では簡単ですが、開校に至るまでの道のりは想像を絶するものでした。教員一人ひとりにはそれぞれの教育観があるもので、なかなか議論が進みません。私はここで学校としての教育方針を出すための意思決定の大切さを学びました。以降、管理職時代もその時の経験を生かして円滑な学校運営・学校経営に努めてきました。

教頭になった時、清水進一先生から茗溪会への出席をすすめられました。実は大学時代は自分自身の甘さを突き付けられる

ことが多く、いい思い出があまりなかった私でしたが、これをきっかけに都合のつくときには出席するようになり、多くの皆様といろいろなお話をさせていただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

現在は週二回ほどアルバイトで地域の区民利用施設でスタッフの仕事をしています。今年一年間は、ここから先のメンテナンスをして、次の生活に向けて充電をしています。そして、新たな出会いをおして心豊かに人生百年時代を過ごしたいと思っています。まだまだ人生、旅の途上です。

神奈川茗溪会 親睦ゴルフコンペ の開催

今年で第3回目を迎える神奈川茗溪会親睦ゴルフコンペですが、会場をこれまでの「東京カントリー倶楽部」から松田町にあります「チエックメイトカントリークラブ」に移し新たな参加者を加えて、4組のコンペとしていきます。開催要項は以下の通りです。

日時 11月15日(金)

場所 チエックメイトカントリークラブ

競技 新ペリア方式

費用 1万4千円程度

ゴルフを通して同窓生の親睦の輪を広げていく、老いも若きも職種を超えて、ただ茗溪というだけで一緒に集える、そんな機会にしたいと思います。今回はすでに募集を打ち切っていますが、例年この時期に定例開催したいと思いますので、来年以降も奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願ひします。

幹事

新木 康稔 (s41 教体)

大辻 昇 (s42 教総農)

大畑多津雄 (s52 教数)

問い合わせ先 大畑多津雄

TEL 090-4510-0682

AE 海老名 綾瀬法律事務所
弁護士 中道 徹 (神奈川県弁護士会)
お気軽にお問合せください!
TEL 046-205-3780
〒243-0432 海老名市中央1-8-3 及びビル松本4階
親身に対応します

現役筑波大生向け 教員採用試験

サポート

大畑多津雄 (s52 教大数)

今年も神奈川県教員採用試験で一次試験を通過した筑波大学生及びその卒業生を対象に、8月1日(木)終日、二次試験対策を実施しました。試験のポイントを確実に伝え、受験者が自信を持って試験に臨み、適切に対応できるように指導助言をしています。今年はいろいろな校種・教科で5名が参加しました。午前中は模擬授業の指導、午後から面接指導および集団協議の指導を実施しました。この日の前後で自己アピール書や学習指導案の指導も行い、結果として5名中3名が二次試験に合格となりました。(写真 左下)

採用試験をめぐる新たな動き

昨年からは、こうした神奈川の二次試験対策を関東地区として取り組めないかという話をしてくれておりましたが、今年から神奈川に加え、埼玉、東京、千葉、茨城でも同様の取り組みを実施することとなり、同時に一都四県で二次試験対策を展開することになりました。今後はこの茗溪の二次試験対策への信頼度を高め、今まで以上の参加者を得て、多くの筑波生の進路実現の支援ができればと考えています。



会員の皆様より

- ▼八十七才、幻の「開成弥一芋」を復活させて県のブランドに認定されました。米(はるみ)作りにも励んでいます。(遠藤将光 s31 教大理生)
- ▼俳句、歌、水墨画を続けております。四月には雪墨会の十周年記念展示会がありました。このような老後を過ごし、就職時や在職中の茗溪の方々の温かいご支援を思い出し、感謝しております。(岸本秀治 s31 教大法政)
- ▼NHK のいでんで東京高師や当時の大塚近辺が出てくるので懐かしく見えています。ちなみにワイフは竹早高校(府立第二高女)出身なので喜んで見えています。筑波の選手が学連選抜で駅伝出走していたのを知らず、地元応援できず残念！(佐藤徹 s46 教大経済)
- ▼一病息災、親の介護は人並みに経験しながらも、数学と音楽のお陰で充実した六十代を謳歌しております。何歳になっても「授業」という言葉に心が躍ります。盛会を祈念いたします。諸先輩方に宜しくお伝えください。(森戸努 s52 教大数)

神奈川県教員採用試験アドバイザー

国語	宮代哲彦	元県立麻生高等学校長
社会	加藤充洋	県立総合教育センター
数学	望月正大	神奈川工科大学
理科	細谷俊一	神奈川工科大学
英語	佐藤教道	県立鶴嶺高等学校長
保体	大石進	県立体育センター
全般	大畑多津雄	神奈川工科大学

叙勲おめでとうございます

熊澤茂氏 (s45 教大農工) が春の叙勲で、瑞宝小綬章を受章されました。おめでとうございます。



情報コーナー

◆令和元年度若手交流会開催のお知らせ

今年で8回目となります神奈川茗溪会若手交流会が11月16日(土)18時より、横浜スカイビル11Fの「大陸」で開催されます。平成卒業(修了)の方々のご参加をお待ちしています。
参加申込み等は、若手交流会発起人まで。email: wakate@kanagawa-meikei.org

○住所変更や不明会員の情報などありましたら、事務局または地区委員までお知らせください。

会員訃報

*昨年度総会以降

- 逸見 孝氏 (s25 文二)
 - 中村 昭氏 (s25 文二)
 - 宮田一郎氏 (s27 大倫)
 - 佐口孝明氏 (s27 農教)
 - 村上安則氏 (s29 教大哲)
 - 辻 次雄氏 (s30 教大工芸)
 - 森山 清氏 (s30 教大体)
 - 平松道生氏 (s34 教大経)
 - 森屋春代氏 (s41 教大教)
 - 若宮粵子氏 (s41 教大農)
 - 井崎真理子氏 (s46 教大体)
- 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

事務局長	大石 進 (s56 筑大体)	090-1536-1745	ssuoishi-5812.syk@docomo.ne.jp
川崎地区【川崎市】			
委員	西村 宗一郎 (s51 教大植)	045-362-7010	
委員	南 敏章 (s52 教大数)	045-945-2086	
横浜地区【横浜市】			
委員	佐々木 悦子 (s46 教大体)	045-784-0670	
委員	望月 正大 (s51 教大数)	045-812-0281	
横三・湘鎌地区【横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡】			
委員	鈴木 彰 (s49 教大地)	0467-52-5354	
委員	瀬木 明 (s52 教大応数)	090-1040-3612	
平秦・西湘地区【平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市】			
委員	細谷 俊一 (s47 教大生化工)	0465-77-2046	
委員	山田 和彦 (s53 教大農)	046-288-1560	
北相地区【厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外】			
委員	大島 恵子 (s46 教大植)	042-715-0317	
委員	本木 幹雄 (s50 教大体健)	090-3817-3402	